

国語科・ルーブリック（『平家物語』忠度の都落ち）

HRNO

NAME

評価項目	知識・技能		思考力・判断力	表現力
	意味がわかる	手続きができる	考える	伝える
観点の説明	言葉の意味や働きを理解できている。	現代語に適切に訳すことができている。	言葉と対象の関係を理解することができる。	物語の世界についての自分の考えを、言葉で説明できている。
	敬語や助動詞の働きが正しく理解できている。	古語と現代語の関係を理解することができる。	シーンの変化・人間関係を言葉から考えることができる。	ト書きやナレーション、台詞などで、状況の概況・人物像・心情を表現できている。
3	敬語や助動詞を正しく指摘し、その働きを正しく説明できている。	本文に合わせて意味を選択し、一語一語の働きや意味を大切に適切な現代語訳ができている。	敬語や助動詞を意識して、場面変化や人間関係を正しく理解している。	ト書きやナレーション、台詞を使って、状況の説明、人物像・心情の表出が適切にできている。
2	敬語の種類や敬意の対象の説明や、助動詞の説明に一部誤りがある。	一語一語を大切に現代語訳になっていないところがある。	場面変化や人間関係の把握についての説明の根拠に一部不十分ところがある。	ト書きを活用して、状況説明することに一部不十分ところがある。
	敬語の種類・敬意の対象の説明はできているが、助動詞の説明には誤りがある。	一部に本文に合わせた意味を選択できていないところがある。	言葉を意識することから見えてくる場面変化や人間関係の理解に一部誤りがある。	ナレーションを通して、作者の心情を表出することに一部不十分ところがある。
	助動詞の説明はできているが、敬語の説明には誤りがある。			台詞によって、心情や人物像を表出することに一部不十分ところがある。
1	敬語や助動詞を正しく指摘できていないところがある。	辞書を調べ古語の意味を確認できているが、重大な訳出のミスがある。	どんな言葉が場面変化や人間関係を把握するために必要であるのかを理解できていない。	ト書きやナレーション、台詞に一部欠けたところがある。
	敬語や助動詞は正しく指摘できているが、働きを説明ができていない。	一語一語の働きを意識せず、現代語の選択も間違っている。	場面変化や人間関係の把握の根拠を説明できない。	台詞のみで、ト書きがない。
	敬語や助動詞の説明の誤りがほとんどである。	語の働きを考えることはできていないが、意識は試みている。		状況の説明、心情・人物像の表出に誤りがある。
0	敬語や助動詞の説明になっていない。	古語を現代語に訳すことができていない。	場面変化や人間関係の把握ができていない。	状況の説明、心情・人物像の表出ができていない。
	敬語や助動詞として指摘できない。	空白	空白	シナリオの体裁になっていない。
	空白			空白